



2026 年 7 月 23 日

株式会社アドバンスト・メディア

要約・編集作業時間が大幅削減！ 茨城県稲敷市議会が「議会だより作成支援サービス」を正式導入 ～議事録から一問一答形式の要約を自動生成し、議会だより作成業務を効率化～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）が提供する、議会の議事録から議員ごと、または質問の趣旨ごとに一問一答形式で要約を生成する「議会だより作成支援サービス」が茨城県稲敷市議会に正式導入され、2026年6月定例会より本格運用が開始されました。

「議会だより作成支援サービス」は、国内シェアNo.1※のAI音声認識AmiVoiceを活用した複数の議事録ソリューションを一元化した新プラットフォーム「VoXT One（ボクスト ワン）」のサービスの1つとして提供しています。



議会だよりとは、議会の活動状況や審議内容を住民に分かりやすく伝えるために各自治体が発行する広報紙です。年4回開催される議会では、議員の質問内容と行政側の回答を要約し、一問一答形式で議会だよりに掲載しています。

稲敷市議会事務局では、膨大な議事録から各議員の発言を精査し、議会だよりに掲載する要約を作成しており、長時間に及ぶ作業が担当者の大きな負担となっていました。また、業務効率化に向けて生成AIを活用した要約も試みましたが、要約結果の根拠となる議事録の該当箇所を一つひとつ確認しながら内容の正確性を担保する必要があり、大きな手間を要していました。

そのような中、「議会だより作成支援サービス」が稲敷市の議会事務局に導入され、2026年6月の定例会より正式に運用が開始されました。

「議会だより作成支援サービス」では、議会の一般質問の議事録データをアップロードすると、全ての発言を議員ごとに自動で振り分けます。振り分けた発言内容は、ワンクリックで一問一答形式に要約することが可能です。さらに、要約文をクリックすると、引用元の議事録をハイライト表示できるため、要約内容の根拠を容易に確認しながら効率的に要約・編集作業を行うことができます。

2026年6月の定例会では、本サービスの活用により、議会の一般質問の議事録データからの要約・編集作業にかかる時間が、大幅に短縮され、校正に費やす時間を多く確保することに繋がりました。

稲敷市議会事務局は、議会で録音した音声をもとに当社子会社の株式会社速記センターつくば（所在地：茨城県取手市、代表取締役：渡部雅史 以下、速記センターつくば）が作成した議事録データを活用しています。速記センターつくばでは、当社のAI議事録アプリケーション「ScribeAssist（スクライプアシスト）」または、クラウド型文字起こしサービス「ProVoXT（プロボクスト）」を活用して音声をテキスト化し、専門スタッフによる確認・修正を経て、全文の議事録データを作成しています。稲敷市議会事務局では、議事録データを「議会だより作成支援サービス」に取り込み、要約や編集作業を行っています。

今後、稲敷市議会事務局では、「ScribeAssist」の「出力テンプレート機能」を活用し、同事務局の議事録フォーマットに対応した議事録データを出力する運用を検討しています。出力された議事録データをそのまま「議会だより作成支援サービス」へ取り込むことで、議事録作成から議会だよりの要約・編集まで、一連の業務をより効率的に行える運用を目指しています。

※「出力テンプレート機能」の詳細はこちら

<https://www.advanced-media.co.jp/newsrelease/11878/>

将来的には、職員による編集作業の負担軽減と、迅速な情報発信の実現に向けて、AIを活用した議事録の作成・編集業務のさらなる効率化を推進します。

【稲敷市議会事務局、コメント】

実際に使用してみて、簡単な手順で内容を要約できる点に加え、作成した要約内容からすぐに発言箇所を確認できるため、修正や調整が必要な場合にも迅速に対応することができます。

さらに、サービス提供者に必要な機能や改善点について相談できる点も魅力の一つです。利用して感じたことや要望を伝えることで、サービス改善に向けた検討につなげていただいています。

本サービスの活用により、一般質問の要約作成をはじめとする編集作業の効率化が図られ、作業時間を短縮できるようになりました。その結果、議会だよりの校正作業や内容の充実に向けた取り組みに時間を充てることができるようになったと感じています。

稲敷市議会事務局 係長 根本

アドバンスト・メディアは今後も、AI音声認識AmiVoiceと生成AIを活用したソリューションの提供を通じて、議事録作成から情報発信までの一連の業務効率化を支援し、地方自治体のDX推進に貢献して

まいります。また、当社のミッションである、人がAI技術により能力を高めるAISH（AI Super Humanization）の実現を目指し、AIが業務を支援することで、人は内容の充実化や判断など、より付加価値の高い業務に注力できる環境づくりに取り組んでまいります。

【議会だより作成支援サービス概要】

「議会だより作成支援サービス」は、議会の一般質問の議事録から議員ごと・質問の趣旨ごとに一問一答形式で要約を自動生成するサービスです。議事録をアップロードするだけで、発言者ごとの振り分けから要約作成までを自動で行い、議会だより作成業務の効率化を支援します。

また、同一の議員の質問と回答に対する要約結果を2パターン表示し要約内容の比較や、文字数などの条件を指定した要約編集を簡単に行うことができます。また、要約の引用元となる議事録をハイライト表示する機能を搭載しており、内容の確認・修正を効率的かつ正確に行えます。

さらに、作成した要約はテキスト形式またはhtml形式で出力でき、html形式では要約と引用元の議事録を紐づけて表示できるため、職員や議員との円滑な確認・情報共有を実現します。

<https://voxt-one.advanced-media.co.jp/news/news/2025/25/6621/>

【VoXT One 概要】

「VoXT One」は、議事録作成業務を多角的にサポートし効率化を実現する、国内シェア No.1※の AI 音声認識 AmiVoice を搭載した複数の議事録ソリューションを一元化した新プラットフォームです。1つのアカウントで、スタンドアローン型の「ScribeAssist」とクラウド型の「ProVoXT（プロボクスト）」など、ユーザーの利用シーンに合わせて最適なソリューションの選択が可能です。さらに、GPT-4o を活用した要約生成や、音声入力ソリューションなど多彩な機能により、議事録作成業務の効率化を実現します。

<https://voxt-one.advanced-media.co.jp/>

【ScribeAssist 概要】

The screenshot displays the ScribeAssist application window. The main area shows a transcript of a meeting with columns for tags, speakers, timestamps, and content. The transcript is organized into sections like '議題' (Agenda), '発言者' (Speaker), and '決定事項' (Decisions). A sidebar on the right contains settings for transcription, including '単語' (Words), '表記' (Notation), '読み' (Reading), and '登録先の単語グループ' (Registered word groups). The bottom of the window features a timeline and audio waveform.

タグ	発言者	発言時間	発言内容
議題	鈴木	15:37:35	前回皆さんにメールで共有したScribeAssistのホームページのデザイン案について、
	鈴木	15:37:51	こちらについてなにかご意見いただけますでしょうか。
	発言者4	15:38:06	私の意見なのですが、もう少し見出しの文字を大きくしてもらえると、区別が付き
	発言者4	15:38:22	カラーバランスについては、背景が少し薄いかなと思いますので、少し濃くしてい
	鈴木	15:38:37	ありがとうございます。
決定事項	鈴木	15:39:44	いただいた意見についてデザイン会社と打ち合わせを設けて、またブラッシュアップ
	山田	15:40:03	それでは、次回までにすべきことの確認、および担当者を決めたいと思います。
ToDo		15:40:39	次回までにすることに関しては、鈴木さんにデザインのブラッシュアップを行っていた
課題	山田	15:40:49	それをまた、1週間後のミーティングにて発表していただき、最終確認を行いたいと

国内シェアNo.1※のAI音声認識AmiVoiceを搭載した複数の議事録ソリューションを一元化したプラットフォーム「VoXT One」にて提供している「ScribeAssist」は、オンライン/オフラインといった会議形態、Web会議システムの種類を問わず使用できる、スタンドアローン型の文字起こし支援アプリケーションです。リアルタイム認識・バッチ（音声ファイル）認識に対応しており、会議の録音から、音声認識、テキスト編集、生成AIによる要約、議事録の出力まで、オフライン環境下（インターネット接続なし）でワンストップに行えます。より直感的かつ高機能なWebエディタで議事録を作成できるブラウザ編集機能や、お使いのPCスペックに依存せず、より高速・高精度に生成AIを用いた要約ができるクラウド要約機能なども提供しています。さらに、「出力テンプレート機能」により、Microsoft Word形式で議事録の出力レイアウトを自由にカスタマイズでき、社内フォーマットや自治体独自の様式にも柔軟に対応できます。また、AI話者識別機能やキーワード・タグ付け機能、リアルタイム字幕表示機能、議事録作成に特化したファシリテーションモードなど、会議での運用に適した機能を多数搭載しています。

<https://voxt-one.advanced-media.co.jp/service/scribeassist>

【ProVoXT 概要】

国内シェア No.1※の AI 音声認識 AmiVoice を搭載した複数の議事録ソリューションを一元化したプラットフォーム「VoXT One」にて提供しているクラウド型音声ファイル文字起こしサービスです。自治体から企業まで、幅広い業種でご活用いただけます。

クラウドにアップロードした音声ファイルを、AI 音声認識 AmiVoice が自動でテキスト化するため、聞き取り・書き取りよりも素早く効率的な文字起こしを実現。各種業務のスピードアップ・業務負担の軽減・時間とコストの削減などに貢献します。

利用人数制限がないため、1 部署から全社利用まで、さまざまな規模での運用が可能です。

<https://voxt-one.advanced-media.co.jp/service/provoxt/>

■速記センターつくばについて

1983 年に設立された茨城県取手市に本社を置き、テープ起こしや文字起こし、会議録作成を中心に、音声認識システムや会議録検索システムの提供、議場マイク設備の整備などを手がけています。地方自治体や教育機関、医療機関、報道機関、法律事務所など幅広い顧客にサービスを提供しており、少人数の体制ながら外部スタッフも活用しつつ専門的な文字起こし・記録業務を支えている点が特徴です。

<https://www.s-c-t.jp/>

※ 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997 年 12 月

資 本 金： 69億3031万円（18,392,724株）（2026年3月末現在）

- 事業内容：**
- ◆企業および企業内のユーザーや一般消費者へ AI 音声認識アミボイスをサービス利用の形で提供する「サービス事業」
 - ◆AI 音声認識アミボイスを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
 - ◆AI音声認識アミボイスを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」）の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コンタクトセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係
経営推進本部 広報チーム ・ TEL：03-5958-1307